

保健福祉センターの窓口サービス機能の検討について

【案1】最小限の窓口サービス機能

⇒ 現在の市民課南那須分室で取り扱っている業務を基本とした「窓口サービス機能」（想定職員数：8人程度）を配置する。

メリット

- ・地域の窓口サービス機能を残すことが可能となる。

デメリット

- ・建物の収容能力に対し、入る機能が少ない。余剰スペースが多く発生する。

【案2】最小限の窓口サービス機能＋分庁的扱い

⇒ 社会経済情勢の変化に柔軟に対応可能な汎用性の高い庁舎整備や、既存施設の有効活用の観点から、現在の市民課南那須分室で取り扱っている業務を基本とした「窓口サービス機能」（8人程度）のほか、市民サービスへの影響が少なく保健福祉センターに配置可能な部署として「教育委員会」（現人数：41人）を配置する。

メリット

- ・地域の窓口サービス機能を残すことが可能となる。
- ・災害時の避難所機能など地域の防災拠点としての機動的対応が期待できる。
- ・既存施設の有効活用を図るとともに、本庁舎の規模もより柔軟性が高まる。

デメリット

- ・分庁方式の弊害が一部残る。

本庁舎以外の場所に教育委員会がある市町

市町	本庁舎	教育委員会の配置場所
1 鹿沼市	鹿沼市役所 (鹿沼市今宮町1688-1)	鹿沼市民情報センター (鹿沼市文化橋町1982-18) ※H31.4から教育委員会事務局の集約のため移転。 ※元々、生涯学習課等が市民情報センターに配置されていた。 ※R5.5に新庁舎が開庁されたが、教育委員会事務局は新庁舎に配置されず市民情報センターに配置されたままとなっている。 ※本庁舎からの直線距離：648m
2 矢板市	矢板市役所 (矢板市本町5-4)	矢板市生涯学習館 (矢板市矢板106-2) ※本庁舎からの直線距離：223m
3 那須塩原市	那須塩原市役所 (那須塩原市共墾社108-2)	西那須野庁舎 (那須塩原市あたご町2-3) ※H17.1.1の合併時は本庁舎にあったが、H18.4の機構改革により西那須野庁舎に移転。 ※本庁舎からの直線距離：10.42km
4 さくら市	さくら市役所 (さくら市氏家2771)	喜連川庁舎 (さくら市喜連川4420-1) ※合併時より喜連川庁舎に配置。 ※本庁舎からの直線距離：6.40km
5 那須烏山市	那須烏山市役所烏山庁舎 (那須烏山市中央1-1-1)	那須烏山市役所南那須庁舎 (那須烏山市大金240) ※合併時より南那須庁舎に配置。 ※本庁舎からの直線距離：5.14km
6 茂木町	茂木町役場 (茂木町茂木155)	茂木町民センター (茂木町茂木151) ※本庁舎からの直線距離：155m
7 塩谷町	塩谷町役場 (塩谷町玉生741)	塩谷町生涯学習センター (塩谷町船生989-1) ※H24の生涯学習センターの整備に伴い教育委員会事務局を集約移転。 ※R5.10の新庁舎完成に伴い新庁舎に移転予定。 ※本庁舎からの直線距離：4.48km
8 高根沢町	高根沢町役場 (高根沢町石末2053)	高根沢町農村環境改善センター (高根沢町石末1825) ※組織改編や人員増加に伴い移転。 ※本庁舎からの直線距離：1.54km